

自治前

# 京都交通労働組合 第88回定期大会

# “創造と挑戦”

～最高の公共交通をおもてなし～

2015.10.9. 案 京都口イカルカテル 8 フロア



・・・力強く団結がんばろう・・・

(金) 十時から「京都ロイヤルホテル＆スパ」に  
おいて、門川大作京都市長をはじめとする各界各  
層を代表する多数のご来賓を迎えて「第八十八回定期  
大会」を開催しました。冒頭、去る八月十八日に  
ご逝去された岡本光治顧問に哀悼の意を表し全  
員で默祷を捧げました。今大会の司会を辻井啓典  
電車部長がされ、「京都市が昨年に続き最も魅了した  
な観光都市にえらばれました。頂いた評価を維持  
し、更に魅力を高める取り組みを進め、最高の公  
共交通を目指すために積極的に行政と参画する必  
要がある。今後、環境問題、少子高齢など、公共交通が果たすべき  
役割は益々重要である。お客様に満足して頂けるサービスの提供を維持  
し、職員が安心して働ける労働環境、そして京都の街づくりへの貢  
献、これらお客様・職員・地域の期待に応える労働組合として役割  
を果たして行きましょう。今年は戦後七〇年です。平和な社会で働く  
くことができる感謝を胸に刻み、平和の礎となつた先人たちに不戦  
の誓いを捧げます」と挨拶に立ち定期大会の幕が上りました。続  
いて、主催者を代表して瀬戸高志執行委員長が①一年間の取り組み  
について②政治活動について③今後の京交運動について、以上大き  
く三点に分けて挨拶を述べました。(委員長挨拶台は別欄に記載)  
次に大会の仕切り役を務める議長団に、自動車部西賀茂支部家原賢  
治代議員・本局支部石田大士代議員を選出。また資格審査委員長  
に本局支部大久保隆洋代議員・大会運営委員長に電車部電整支部福  
元俊介代議員をそれぞれ選出しました。議長団を代表して家原議長  
は、「一年の総括と今後の方針を決定する重要な大会であります。ま  
た、京交再建七〇年と末広がりの八十八回目となります。長い歴史  
があつて今の職場があり、私たちの生活があるので。労働条件や  
待遇の改善はもちろんのこと、諸先輩方が築き上げてきた歴史ある交  
通局を未来と後輩立へ繋げたいと思います。京都市交通局と京都交  
通労働組合が末広がりに発展するように代議員の皆様には活発なご  
審議をお願いします」と就任の挨拶を行い、議事進行に入りました。  
はじめに、多くの来賓の皆さまが紹介され、定期大会開催の華向け  
として数多くのご祝辞をいただきました。続いて、第一号議案の「二  
〇一四年度活動報告」及び「二〇一四年度会計決算報告」を伴野敏  
之副執行委員長が行い、会計監査報告書を自動車部梅津支部江谷孝行  
代議員より報告があり、満場一致で承認されました。(昼食休憩後)  
午後からは、第二号議案の「二〇一五年度運動方針(案)」を佐田  
悟書記長から提案され、代議員の活発な議論のもと向こう一年間の  
運動方針が決定されました。続いて「二〇一五年度予算」等、第七  
号議案まで本部側から順次提案され、滞りなく承認されました。ま  
た、大会スローガンの確認に続き大会宣言(案)が提案され、全員  
の大きな拍手で決定されました。大会を成功に導いた議長団の石田  
議長は、「皆様の活発な議論を経て、来年度の運動方針が議決され  
ました。この方針を以て、私たち組合員がしっかりと  
とした労働運動を行い、京交がより一層発展し  
ていくことを祈念致します」と降壇の挨拶を述べ、  
最後に、瀬戸高志執行委員長の发声により大会参  
加者全員による「ガンバロウ三唱」が声高らかに  
力強く行われ、第八十八回定期大会を締め括りま  
した。



司会をされた  
辻井啓典電車部

京都交通労働組合

電話(075)841-0948  
発行者 濑戸高志  
編集者 教宣部一同

- ・第88回定期大会開催  
　　・二面・
  - ・ご祝詞をいただいたご来賓の皆様
  - ・大会宣言
  - ・祝電およびメッセージ  
　　・三面・
  - ・質疑応答
  - ・大会来賓者名  
　　・四面・
  - ・定期大会に参加して
  - ・都夢ちゃんのひとり言  
　　・五面・
  - ・京都交通労働組合  
再建70周年記念祝賀会開催  
　　・六面・
  - ・京都交通労働組合  
再建70周年記念祝賀会開催
  - ・ナンプレ
  - ・Fromみぶ
  - ・都夢ちゃんのひとり言Part2



議長を務めた  
左家原賢治氏右石田太十氏

## 二 挨拶（要旨）

運動強化にも努めて参ります。  
次に、自治労と組織統合を果たしてから二年が経過しました。この間、皆様のご協力を得て様々な運動を開催させていますが、何をするにも根幹に平和があります。自治労が掲げる「平和」への取り組みの一環である「戦争させない一〇〇〇人委員会」や「さよなら原発」の運動等に積極的に参加してきましたが、残念ながら、国民の意見に全く耳を傾けず、安倍政権は暴走を続け、安保法案を強行採決させるとともに、一部原発の再稼働を容認しました。とりわけ、安保法案については、多くの政治学者や元最高裁判事が違憲だと訴えていたことから、本当の闘いはこれからだということを認識し、法案の取り消しを求め、安心して働く社会の実現を目指し、引き続き運動を邁進させる所存です。

統いて、交通局の財政状況についてです。長年、耐え抜いてきた合理化が、ボクシンゲでいうボディブローのように効果が表れ、市バス・地下鉄両事業において良い結果が数字として出てきました。具体的には、市バス事業において経営健全化団体から三年前倒しで脱却されることになり、最大二四億に上った負債を平成二十六年度決算では七億円の剩余金を計上するまでになり、自立した経営を実現させることができ

あります。京交も運動を展開していきます。時代を遡ると市電が廃止になつた時代と重複する点があります。当時、規制をしていれば、渋滞の影響が少なく快適な乗り物として息を吹き返し、廃止にならなかつたのかかもしれません。歴史に学び、先人の知恵を拝借することで様々な議論を重ね、移動の利便性を高め観光都市として地位向上を図り、これからも世界が憧れる観光都市として魅力を発信しつづけなければなりません。私たちちは京都市政に全面的に協力しながら公共交通優先のまちづくりを担う覚悟で邁進して参ります。

最後に大阪では、十一月、再び都構想の賛否を問う知事と市長のダブル選挙が実施されます。この結果は京都においても大きな影響を与え兼ねません。また、続く夏の参議院選挙では自治労・連合が推薦する「えさきたかし」「福山哲郎」参議院議員の勝利は大変重要であります。皆様のお力を貸し下さい。

結びに本日の大会では、代議員各位の活発な討議により、京交一丸となつて活動できる方針を決定していただきたいと思つています。高い志を抱き、公営交通の発展に向かって頑張ります。また、公営交通の発展に運動を展開することをお誓い申し上げます。執行部を代表しての挨拶としま

京都交通労働組合第八十八回定期大会開催にあたり執行部を代表して一言ご挨拶申し上げます。冒頭、市民はじめお客様の足を守るため、連日、早朝深夜を問わず働く組合員の皆様に対しまして心より敬意を表します。日頃より、本部の様々な運動に対し各支部の皆様には、本当にご協力頂き感謝申し上げます。また、今大会に大変お忙しい中、門川市長をはじめご来賓として各界・各層より多数の皆様にご臨席賜り誠にありがとうございます。感謝の気持ちを表わすとともに、この一年の京交運動や取り巻く状況についてご説明を申し上げてご挨拶と致します。

まず、政治活動の重要性についてです。昨年十二月に実施された衆議院議員総選挙では、私たちが応援する民主党にとって極めて厳しい結果であったことは言うまでもありません。されば、今年四月の統一地方選挙においても、維新の党や京都党が躍進し、私たちが応援する民主党は大きく議席を減らすことになりました。選挙で快勝した安倍政権は、公務員に対して執拗に攻撃、を仕掛けています。国家公務員では、昨年、給与構造改革が実施され、この影響により私たち地方公務員においても人事委員会で大変厳しい勧告がなされ、秋の確定交渉に向け予断を許さない状況となっています。こうしたことから、私たちの職場を守るために選挙への関心をより高め、民主党を基

ました。一方、地下鉄事業は、未だ多額の建設費用が経営を圧迫していますが、五万人都増客へ向けて駅ナカビジネスや金曜日の終夜延長、さらに可動柵など安全対策を推進させることで増客に繋がっています。また、固定客に繋がる定期券購入者の増加で目標達成が目前に迫り大変うれしく思いますが、しかし、ここで安心せず、経営健全化計画の着実な実行とさらなる増客を目指し、職員全体のスキルアップ等に励まなければならぬと思っています。

次に公営交通についてです。私が執行委員長になつて十三年余りがすぎました。この間、都市交の仲間が公営から姿を消していきます。実際に半世紀で四十一事業者から二十六事業所に減少する状態に陥っています。今まででは、中・小ばかりが対象となつてきましたが、大阪や神戸においても常に議論の対象にさらされていることから大都市においても危機感を持たなければなりません。京都でもその影響は免れることはできません。私たちの職場を守るため、ひとつとして、苦情<sup>ノ</sup>を目標に組合員一丸となって努力していく、かなければなりません。私たちの警察や消防のよくな競争相手がいるのです。鐵道会社と比較されます。同業者より多くも交通局の方がすばらしいと言われるようになります。努力していくことがこれから課題です。目標を達成するためには、それらの立場で頑張つて下さい。



# 質疑応答

**〈第2号議案〉**

**梅津支部 村川拓也代議員**



**Q 休暇制度について、現行制度では、育児休暇の取得が昇格の欠格事項に該当するため取得しにくい。改善を要求して欲しい。**

**A 休暇制度については、市労連等の枠組みの中で決定されるものであり、交通局単独で決定できるものでないが、より良い制度となるよう、独自要求の場において、当局に改善を強く申し入れて参ります。**

**Q 職場環境の改善について、昨年度の運転計画実施に伴い、當業所間で大規模な人事異動が行われ、烏丸営業所には遠方からの通勤者が多くなり、運営に支障を来しかねない。このような偏った人員配置とならないよう、適切な人事異動を当局に要望して欲しい。**

**A 人事異動については、管理運営事項であるため、組合は介入できぬが、現場の運営状況を踏まえ、より適正な人員配置となるよう当局に要望して参ります。代議員の皆様におかれても、職場の代表者として運営状況をしっかりとチェックし、組合員の声を届けていただきたいと思います。**

世代の平和運動については、青年女性部が担つており、今後の取り組みをさらに推進して参ります。



佐田悟書記長

**A 組織拡大のためには、現在好調である両事業の経営が、今後も盤石であることを前提で実現には、組合員一人ひとりが職務に一層邁進し、委託先に負けない質の高いサービスを提供し続けることが不可欠であると思っています。これが、両事業のブランドの構築に繋がり、ひいては公営交通を守ることに繋がります。その上で、中長期的に組織拡大の運動が展開できるものと考えています。**

関係ないものの、その結果が人院勧告、人事委員会勧告に繋がるものであるため、連合の活動を引き続き支援して参ります。賃上げが物価上昇に追いついていないことについては、即ち現政府が機能していないことの表れであり、我々労働者の意見を広く国政に反映できるよう、政治活動を一層充実させて参ります。そのほか、連合の掲げるワークライフバランスの観点から、実生活の充実が確実に図られるよう、種々の取り組みを展開して参ります。

**A 春闘は、公務員労働者には直接賃上げが物価上昇に追い付かない。このような状況で、組合員の実生活をどのように維持していくのか。今後の取り組み方針を伺いたい。**

**Q 二〇一五春闘では、連合が二%以上の賃上げを勝ち取ったが、消費者物価の総合指数は前年比三・二ポイント上昇しており、賃上げが物価上昇に追い付かない。この状況で、組合員の実生活をどのように維持していくのか。今後の取り組み方針を伺いたい。**

京都市公営企業管理者、京都市交通局協力会、近畿労働金庫京都支店、全労済京都府本部、京交会顧問、きらら保険、京交顧問団、左京区選出議員、東山区選出議員、伏見区選出議員、伏見区選出議員、伏見区選出議員、元衆議院議員、元準組織内議員、交通局長、長谷川雅也、西村隆一、出口博一、井原理博、細田一三、井上忠男、藤田寛也、長谷川雅也、村尾強男。

**梅津支部 杉本真彦代議員**



梅津支部 杉本真彦代議員

**Q 平和運動について、この間、京交の安保法案反対に係る取り組みの総括をお聞きしたい。今後の平和運動に対して、若い世代が参画できるよう取り組み方針の提示をされはどうか。**

**A 国会前のデモ参加等、京交として積極的に運動してきたが、法案が成立したことは遺憾であり、政治活動の重要性を強く認識するものである。今後は、民主党を基軸とした反安保・護憲の議員を国政に送り込むことに注力して参ります。また、若い**

**A 信頼の市バス・地下鉄ブランドの構築について、現在、バス事業、地下鉄事業共に民間委託をされており、民間委託への拡大、或いは減少に対する长期的なビジョン**

**Q 地下鉄事業共に民間委託をされており、民間委託への拡大、或いは減少に対する长期的なビジョン**

**A 地下鉄事業共に民間委託をされており、民間委託への拡大、或いは減少に対する长期的なビジョン**

**Q 信頼の市バス・地下鉄ブランドの構築について、現在、バス事業、地下鉄事業共に民間委託をされており、民間委託への拡大、或いは減少に対する长期的なビジョン**

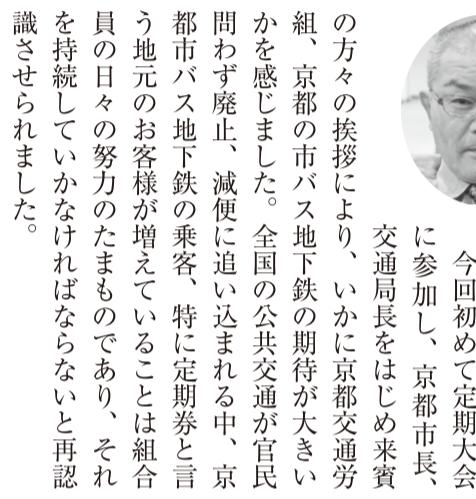
**A 地下鉄事業共に民間委託をされており、民間委託への拡大、或いは減少に対する长期的なビジョン**

**Q 信頼の市バス・地下鉄ブランドの構築について、現在、バス事業、地下**

# 定期大会に参加して



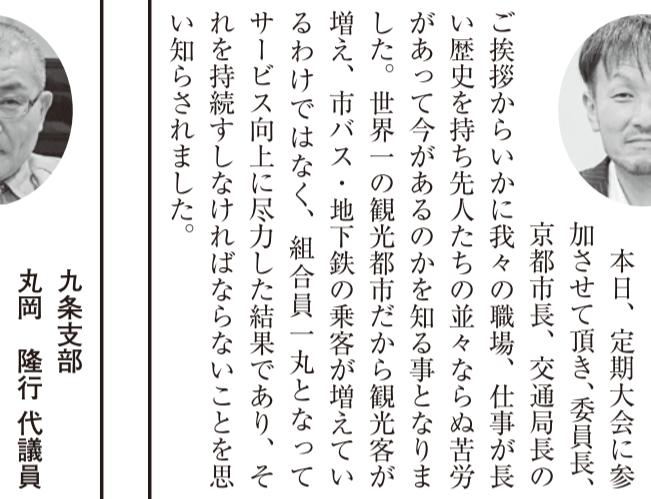
村田 宏之 代議員  
駅務支部



門川 勤 代議員  
市長室  
瀬戸執行委員長  
定期大会に参加して



本局支部  
小林 寛也 代議員  
定期大会に参加して



定期大会に参加して



定期大会の参加を通じて、瀬戸執行委員長や門川市長をはじめ、様々な立場の方の交通局に対する思いに触ることができ、また、交通局が置かれている現状や今後求められる役割について再認識する非常に良い機会となりました。市バス・地下鉄両事業とも業績は着実に上向き始めていますが、慢心することなく、引き続き日々の業務に取り組んでいきたいと思います。



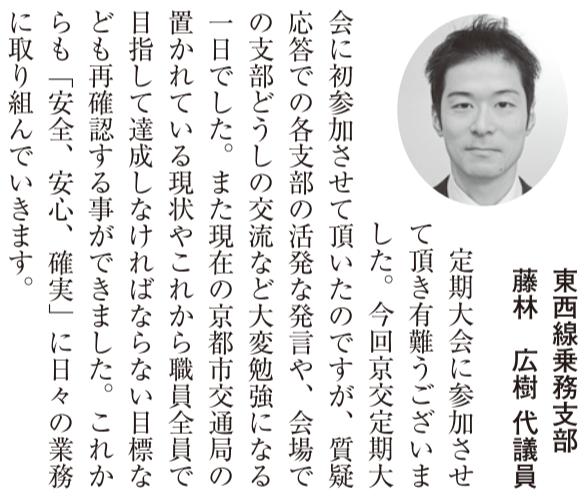
定期大会に参加して



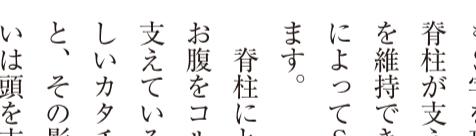
定期大会に参加して



定期大会に参加して



定期大会に参加して



定期大会に参加して



# 京都交通労働組合 再建70周年 記念祝賀会が開催

~~~~ 先人が残した運動の歴史を再確認 ~~~~

二〇一五年十月九日（金）  
京都市下京区木屋町通松原にある京都鴨川リゾート鮎鶴で  
総勢一六七人が参加。七〇周年を祝い、京交が歩んだ道のりを確認し先人を称え、次なるステージへ進むことを約束されました。



司会をされた  
佐田 悟  
書記長



甚句を披露され  
今枝 徳藏  
元組織内議員



挨拶をされる  
瀬戸 高志  
執行委員長

ます。締めに本日は、現職ではなく、ご参加頂いている諸先輩方が主役です。懐かしい顔とともに楽しんで下さいと挨拶に立たれました。統て、来賓の皆様が紹介され、門川大作市長や福山哲郎参議院議員をはじめ再建七〇周年への華向けとして数多くのご祝辞を頂きました。その後、乾杯に入り、ご発声を西村隆公営企業管理者交通局局長が務められ、出席者全員で杯を交わし、懇親が始まりました。祝賀会の中盤では、三味線演芸として「平成の女道楽・内海英華さん」が講演をされ、出席者は、三昧線と美しい歌声に聞きほれ、会場は、大いに盛り上がりました。そして、中締めの挨拶を中谷文明副執行委員長が努められ、「祝賀会へのご参加、長きに亘る、諸先輩方の運動展開に感謝申し上げます。七〇周年は、通過点です。我々は、今後も、この京都の地で八〇年、一〇〇年と未来永劫、輝き活躍しなければなりません。そのためには努力と精進と共に続けましょう」と述べられました。統いて、団結ガンバロウの発声を瀬戸高志執行委員長が行われ、京交運動発展のため、来年の市長選及び、夏の参議院議員選挙で、門川大作市長、福山哲郎参議院議員の勝利を祈念され、出席者全員で一致団結して、ガンバロウ三唱をして再建七〇周年記念祝賀会が閉会しました。

| 式 次               | 第                                                        |
|-------------------|----------------------------------------------------------|
| オープニング            | 70周年記念甚句                                                 |
| 主催者挨拶             | 執行委員長                                                    |
| 来賓挨拶              | 京都都市長                                                    |
| 乾 杯               | 京都市議会副議長                                                 |
| 来賓挨拶              | 民主党幹事長代理員<br>参議院議員<br>公営企業管理局長<br>交通連合京都大会長<br>民主党京都府連会長 |
| 衆議院議員             | 大福西橋元信健和                                                 |
| 衆議院議員             | 山村井崎孝勝樹                                                  |
| 参議院議員<br>(自治労組織内) | 江栗原橋直                                                    |
| 自治労総合都市交通局<br>局長  | 高松田忠男                                                    |
| 自治労京都府本部<br>執行委員長 | 京都市労連執行委員長                                               |
| 京交会会长             | 京交会会长                                                    |
| 祝賀会               | 上井忠                                                      |
| 三味線演芸             | 忠                                                        |
| 《平成の女道楽》          | 國忠                                                       |
| 閉会の挨拶             | 内海英華》                                                    |
|                   | 副執行委員長                                                   |
|                   | 中谷文明                                                     |

# やる氣「美女」ワーケーション

# ～ご来賓の皆様～



A wide-angle photograph of a paved surface, likely a road or driveway. The surface is a uniform light grey color. On the far left, there is a dark grey vertical strip, possibly a wall or a shadow from a building. On the far right, there is another dark grey vertical strip. The middle portion of the image shows the paved surface extending towards the horizon.



A horizontal strip showing four distinct fabric textures: a dark, ribbed fabric on the left, followed by a light-colored, fine-striped fabric, a plain light-colored fabric, and a textured, possibly corduroy or velvet, fabric on the right.



京都交通労働組合  
再建70周年 記念祝賀会

## ～ 70周年 記念祝賀会 ご来賓・先輩の皆様 ～

(敬称略)

ご来賓の皆様

- ・京都市  
門川 大作 市 長
  - ・京都府  
野村 賢治 商工労働観光部・雇用政策監(知事代理)
  - ・京都市議会  
大道 義知 副議長
  - ・日本労働組合総連合会京都府連合会  
橋元 信一 会 長
  - ・民主党  
泉 健太 京都府連・衆議院議員  
山井 和則 衆議院議員(宮地俊之秘書)  
前原 誠司 衆議院議員(斎藤博史秘書)  
福山 哲郎 幹事長代理・参議院議員  
江崎 孝 参議院議員  
北神 圭朗 京都府連第4区総支部長・元衆議院議員  
隠塚 功 京都市会議員  
鈴木 正穂 京都市会議員  
中野 洋一 京都市会議員  
天方 浩之 京都市会議員  
山岸 隆行 京都市会議員  
安井 勉 京都市会議員  
山本 拓史 京都市会議員  
平井 齊己 京都府議会議員  
北岡ちはる 京都府議会議員  
田中 健志 京都府議会議員  
岡本 和徳 京都府議会議員
  - ・公明党  
青野 仁志 京都市会議員
  - ・全日本自治団体労働組合  
栗原 勝 総合都市交通局・局 長

安田 潔 東京交通労働組合・執行委員長  
 伊藤 裕彰 名古屋交通労働組合・執行委員長  
 中山 久雄 大阪交通労働組合・執行委員長  
 五百旗頭英裕 神戸交通労働組合・執行委員長  
 高橋 直樹 自治労京都府本部・執行委員長

・京都市職員労働組合連合会  
 松田 國広 京都市職員労働組合連合会・執行委員長

・京都市交通局  
 西村 隆 京都市公営企業管理者・交通局長  
 松本 建次 次長  
 山本登志一 理事(高速鉄道部長)  
 安田 淳司 企画総務部長  
 宮田 英喜 営業推進室長  
 加藤 讓 自動車部長  
 高見 孝幸 自動車部担当部長  
 土田 稔 高速鉄道部担当部長  
 大八木雅史 職員課長

・元準組織内議員  
 今枝 徳藏

・友誼団体  
 井原 理博 近畿労働金庫・京都支店長  
 細田 一三 全労済京都府本部・本部長  
 出口 博一 (一社)京都市交通局協力会・会長

先輩の皆様

- ・京交顧問  
長谷川雅也
  - 村尾 強  
政 勝男
  - ・京都市交通局退職者協議会  
井上 忠男 会長

|     |      |       |
|-----|------|-------|
| 則永  | 隆信   | 副会長   |
| 前田  | 文男   | 副事務局長 |
| 清水  | 明二   | 計画委員会 |
| 芝   | 光二   | 代表幹事  |
| 今井  | 武夫   | 顧問    |
| 島田興 | 三右衛門 | 与野參   |
| 橋爪  | 正博   | 与野參   |
| 織田  | 博運   | 問参    |
| 相宗  | 次男   | 参     |
| 植田  | 和雄   |       |
| 大谷健 | 雄一郎  |       |
| 坂本  | 八重   |       |
| 白江  | 茂雄   |       |
| 瀬戸  | 一男   |       |
| 月本  | 賢一   |       |
| 中村  | 昌延   |       |
| 福本  | 恵三   |       |
| 松井富 | 美子   |       |
| 山口  | 英夫   |       |
| 上田  | 稔夫   |       |
| 大隣  | 正明   |       |
| 神谷  | 竺二   |       |
| 柴崎  | 郁夫   |       |
| 菅原  | 照則   |       |
| 田中  | 雅司   |       |
| 鳥居  | 英修   |       |
| 西野内 | 道代   |       |
| 政   | 芳輝   |       |
| 松村  | 良一   |       |
| 和田  | 良一   |       |

「ナンプレ」のコーナーです。  
ちょっと一息！頭のリフレッシュしてみませんか？下記の  
マスを全部埋めてください。正解者の中から抽選で三人の方  
に「全国百貨店共通商品券」千円分をプレゼントします。どう  
ぞ応募してください。

A partially filled 9x9 Sudoku grid. The visible numbers are:

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |   | 2 | 3 |   |
| 8 | 7 |   |   |   |   |   | 5 |   |
| 4 |   |   |   |   |   | 6 |   | 1 |
|   |   |   | 1 |   | 6 |   |   | 5 |
| 9 |   |   | 4 |   | 8 |   |   |   |
| 2 |   | 9 |   |   |   |   | 4 |   |
|   | 3 |   |   |   |   | 9 | 7 |   |
|   |   |   | 5 | 6 |   |   |   |   |

このナンプレが解けた方は、支那名前、機関紙等を記入の上、京文部教宣部機関紙編集チームまでお送りください。締め切りは十二月四日(金)必着です。なお当選者の発表は次号以降の機関紙「京文」で

Part2

パワハラに対応する  
—風通しのよい職

**Q** 「部下からのパワハラに悩む管理職はどう対応し、指導

**バイトで不當な扱いを受けた?**

| 回答            | 割合    |
|---------------|-------|
| No<br>受けしていない | 33.1% |
| Yes<br>受けた    | 66.9% |

全体から推計すると、100万人現職が「不當な扱い」?

No 受けしていない 33.1%

Yes 受けた 66.9%

↓

過度な体力作業

自腹購入

辞めにくく

の状況を聞き取り、第三者の話を聞く必要もあるでしょう。その上で、部下の態度が嫌がらせやいじめにあたるようなら指導が必要ですし、上司の受け取り方が偏っているのであれば、上司に自分の在り方を自認させる必要があります。

また、人間のことですからどうしても性格が合わないとか、上司の実力が不足していて部下が不満という事態もあり得るので、配置転換などで問題を解消せざるを得ないこともあるかと思います。

社員にがまんを強いるのではなく、現場の声を聞く仕組みを整え、積極的に改善していく可能性を提示できる会社のほうが結局は生産性もあがるのでないでしようか？

上司からにして、部下からにして、ハラで問題になりやすい点に当事者の認識にずれがある可能性があるということがあります。たとえば、上司の側がパワーハラト感じて、いるような場合、部下の態度が不当なのか、そもそも上司が無理を強きそれに反発しているのを、上司が自分の態度を認識せず、部下を非難しているのかなど、上司の感じている認識とは別に、会社としては客観的に事態を把握しなければなりません。

かの判断が必要。また状況によつては上司のスキル強化や配置転換も検討すべき」「パワー・ハラスメント」という言葉が示す通り、パワーハラスメントは、もともと立場の優位性を背景に、上の立場の者が下の立場の者に精神的肉体的に苦痛を与える行為、職場環境を悪化させる行為のことです。

しかし、最近では右記の質問にあるように「上司が部下からパワーハラスメントを受ける」というようなことも目にすることが多くなってきました。パワーハラスメントという言葉が、立場に依らない職場内のいじめ・嫌がらせといふうに意味が拡大してきているというこ